



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL https://www.resorttrust.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼COO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け) IR電話会議
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,416	△40.4	△884	—	△400	—	△1,810	—
2020年3月期第1四半期	39,258	△1.6	2,442	14.0	2,557	6.8	1,492	8.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,044百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 1,489百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△16.91	—
2020年3月期第1四半期	13.95	12.81

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	433,633	130,102	28.8
2020年3月期	400,833	132,991	31.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 124,993百万円 2020年3月期 127,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	17.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	△0.7	6,300	△45.9	7,800	△37.5	3,200	△55.2	29.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	108,520,799株	2020年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,450,970株	2020年3月期	1,458,382株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	107,065,438株	2020年3月期1Q	107,030,863株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(<https://www.resorttrust.co.jp/ir/>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

※本日(2020年8月7日)業績予想を公表しておりますので、当第1四半期連結累計期間は公表数値に基づく「計画」が無い場合、「前年同期」との比較を行ってまいります。

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	39,258百万円	23,416百万円	△40.4%
営業利益又は営業損失(△)	2,442百万円	△884百万円	－%
経常利益又は経常損失(△)	2,557百万円	△400百万円	－%
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,492百万円	△1,810百万円	－%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、経済活動が縮小し、多くの企業が事業活動の制限を余儀なくされております。依然として、収束が見通せない中で、先行きは極めて不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の状況は、4月～6月にかけて、国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の移動の自粛や訪日外国人旅行者の著しい減少等により、会員権事業において会員権販売の営業活動が制限され縮小したこと、ホテルレストラン等事業において、ホテル等施設のクローズを行ったこと、メディカル事業において、健診施設のクローズやシニアレジデンスへの新規入居が鈍化したことなど、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。一方で、このような環境下においても、会員様から継続的にホテルの利用や会員権見込み客の紹介をいただき、会員制ビジネスの強みを再認識するとともに、会員様、顧客の期待に応えるべく、当社グループ独自の3密対策や、メディカル事業での知見を活かした情報提供、会員様への電話相談などの実施のほか、「会員制の基本」に立ち返り、人と人とのつながりを強く、太くすることで、ニューノーマルに対応した当社グループの一生涯戦略を推進しております。

上記のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、売上高は23,416百万円(前年同期比40.4%減)、営業損失は884百万円(前年同四半期は営業利益2,442百万円)、経常損失は400百万円(前年同四半期は経常利益2,557百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,810百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,492百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	10,431百万円	5,694百万円	△45.4%
セグメント利益又は損失(△)	3,278百万円	2,203百万円	△32.8%

会員権事業におきましては、2020年9月に開業を予定している「横浜ベイコート倶楽部」のホテル会員権の販売が好調に推移しておりますが、新型コロナウイルス拡大の影響により、特に首都圏での営業活動が制限され、強みである対面営業が行えないことなどにより、前年同期に比べて会員権の販売量が減少し、減収減益となりました。このような環境下でテレワーク等の新たなセールスタイルへの対応やWEB経由やビジネスパートナー経由など新たな販売チャネルの研究など未来志向の挑戦を続けております。

【ホテルレストラン等事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	19,917百万円	8,614百万円	△56.7%
セグメント利益又は損失(△)	12百万円	△2,347百万円	－%

ホテルレストラン等事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の自粛要請等の影響で施設をクローズしたほか、旅行や観光への消費者マインドの低下は避けられず、特に法人従業員や団体、婚礼、宴会、会議等の利用の減少などにより、ホテル稼働率が減少したこと、特に一般ホテルにおいては、訪日外国人旅行者やビジネス利用客の著しい減少の影響を受けたことなどにより減収減益となりました。このような環境下で、メディアル事業の見も活用した当社グループ独自の3密対策を行うなど、会員制らしい安心安全の追求を行い事業の持続的な価値創出を続けております。

【メディカル事業】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	8,744百万円	8,942百万円	+2.3%
セグメント利益又は損失(△)	1,206百万円	1,027百万円	△14.8%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が成長しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員募集、入居者募集の営業活動が制限されたこと、健診施設では施設のクローズを行ったことなどにより増収減益となりました。このような環境下で、グループ事業への情報提供や支援によるシナジー創出へ貢献しながら最先端の医療・介護サービスの創造を続けております。

【その他】

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	164百万円	164百万円	+0.0%
セグメント利益又は損失(△)	75百万円	72百万円	△3.6%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は433,633百万円(前連結会計年度比8.2%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が15,688百万円、仕掛販売用不動産が5,010百万円、未収入金が1,663百万円、建設仮勘定が7,972百万円、投資有価証券が1,383百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は303,531百万円(前連結会計年度比13.3%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、一年以内返済予定長期借入金が3,099百万円、長期借入金31,516百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は130,102百万円(前連結会計年度比2.2%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が3,652百万円減少したことなどによるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、2020年8月7日に公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2021年3月期 通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	159,145百万円	158,000百万円	△0.7%
営業利益又は営業損失(△)	11,652百万円	6,300百万円	△45.9%
経常利益又は経常損失(△)	12,476百万円	7,800百万円	△37.5%
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	7,135百万円	3,200百万円	△55.2%

通期業績見通しについては、2020年9月に開業を予定している「横浜ベイコート倶楽部」の会員権販売が当初の想定以上に進捗する見込みであり、開業時には、これまで繰り延べられてきたホテル会員権の不動産部分の収益が一括計上される一方で、同時開業を予定している当社グループ国内初の一般ラグジュアリーホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜」も含めた開業費用が先行的に発生する予定であるほか、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月～6月にかけて、会員権事業における営業活動の縮小、ホテルレストラン等事業における施設のクローズ、メディカル事業における健診施設のクローズやシニアレジデンスでの新規入居者の鈍化など、訪日外国人旅行者の著しい減少や日本国民の県を跨いだ移動の制限、不要不急の外出自粛等による消費の減退など、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。引き続き、第2四半期にも影響が続き、その後は緩やかに回復に向かうであろうと想定し、資金繰りについては、第3四半期まで影響が続く前提をもって、安定かつ安全な経営を持続できるように万全の備えを行っております。現時点では、第2波、第3波の影響は想定するのが困難な状況ではありますが、再び全国規模での緊急事態措置が取られないことを前提とした、通期の連結業績予想を本日(2020年8月7日)付で公表しております。

上記の状況を鑑み、当社グループ全体として、売上高 158,000百万円(前年同期比 0.7%減)、営業利益 6,300百万円(同 45.9%減)、経常利益 7,800百万円(同 37.5%減)、親会社に帰属する当期純利益 3,200百万円(同 55.2%減)と減収減益を見込んでおります。

なお、配当金の予想については、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、1株当たり中間配当額(予想)を10円、期末配当額(予想)を10円とし、年間配当額(予想)を20円と致しました。これは前年度の年間配当額40円に比べ、20円の減額となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,164	36,853
受取手形及び売掛金	8,233	6,713
営業貸付金	53,549	54,148
有価証券	499	499
商品	1,167	1,169
販売用不動産	22,077	22,387
原材料及び貯蔵品	1,014	1,016
仕掛販売用不動産	12,357	17,368
その他	6,232	9,477
貸倒引当金	△1,000	△1,066
流動資産合計	125,296	148,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	103,562	103,898
機械装置及び運搬具（純額）	2,621	2,479
コース勘定	7,634	7,634
土地	44,886	44,970
リース資産（純額）	13,721	13,449
建設仮勘定	16,885	24,857
その他（純額）	4,436	4,180
有形固定資産合計	193,748	201,470
無形固定資産		
のれん	3,094	2,946
ソフトウェア	4,969	4,562
その他	2,516	2,753
無形固定資産合計	10,580	10,262
投資その他の資産		
投資有価証券	36,016	37,399
関係会社株式	1,368	1,321
長期貸付金	5,743	5,723
退職給付に係る資産	235	95
繰延税金資産	8,918	9,320
その他	19,536	19,968
貸倒引当金	△611	△495
投資その他の資産合計	71,208	73,332
固定資産合計	275,537	285,064
資産合計	400,833	433,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,117	776
1年内返済予定の長期借入金	8,107	11,207
1年内償還予定の社債	150	150
リース債務	1,212	1,208
未払金	6,861	5,016
未払法人税等	1,785	742
未払消費税等	1,929	1,212
前受金	22,028	25,747
前受収益	17,002	18,456
債務保証損失引当金	52	52
ポイント引当金	588	749
その他	6,356	9,751
流動負債合計	67,192	75,070
固定負債		
社債	300	300
新株予約権付社債	29,770	29,760
長期借入金	31,016	62,533
リース債務	13,538	13,249
繰延税金負債	376	327
役員退職慰労引当金	2,099	2,116
株式給付引当金	1,803	1,866
退職給付に係る負債	2,231	2,290
長期預り保証金	31,870	31,600
償却型長期預り保証金	69,898	66,849
その他	17,744	17,565
固定負債合計	200,649	228,460
負債合計	267,842	303,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,767	21,767
利益剰余金	88,294	84,641
自己株式	△1,802	△1,795
株主資本合計	127,849	124,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△450	520
為替換算調整勘定	728	563
退職給付に係る調整累計額	△328	△295
その他の包括利益累計額合計	△50	788
新株予約権	313	313
非支配株主持分	4,878	4,795
純資産合計	132,991	130,102
負債純資産合計	400,833	433,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	39,258	23,416
売上原価	6,165	1,220
売上総利益	33,093	22,195
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	11,648	8,817
役員退職慰労引当金繰入額	18	16
修繕維持費	1,053	496
貸倒引当金繰入額	85	68
債務保証損失引当金繰入額	—	0
水道光熱費	1,370	702
減価償却費	2,306	1,841
その他	14,168	11,137
販売費及び一般管理費合計	30,650	23,080
営業利益又は営業損失(△)	2,442	△884
営業外収益		
受取利息	328	267
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	5	—
貸倒引当金戻入額	118	118
債務保証損失引当金戻入額	11	—
助成金収入	6	356
その他	35	59
営業外収益合計	509	805
営業外費用		
支払利息及び社債利息	111	107
持分法による投資損失	—	47
控除対象外消費税等	142	121
為替差損	110	1
その他	29	43
営業外費用合計	393	321
経常利益又は経常損失(△)	2,557	△400

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	2	—
助成金収入	—	1,112
特別利益合計	2	1,114
特別損失		
固定資産除却損	1	1
役員退職慰労金	30	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	2,972
その他	0	174
特別損失合計	32	3,148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,528	△2,434
法人税、住民税及び事業税	430	345
法人税等調整額	568	△894
法人税等合計	999	△548
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,528	△1,885
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△75
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,492	△1,810

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,528	△1,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△373	972
為替換算調整勘定	310	△164
退職給付に係る調整額	23	33
その他の包括利益合計	△39	841
四半期包括利益	1,489	△1,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,453	△970
非支配株主に係る四半期包括利益	35	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,431	19,917	8,744	39,093	164	39,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	516	60	587	363	950
計	10,442	20,434	8,805	39,681	527	40,209
セグメント利益又は損失(△)	3,278	12	1,206	4,497	75	4,573

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,497
「その他」の区分の利益	75
全社費用(注)	△2,130
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	2,442

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,694	8,614	8,942	23,251	164	23,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	406	14	429	432	861
計	5,702	9,021	8,957	23,681	596	24,278
セグメント利益又は損失(△)	2,203	△2,347	1,027	883	72	955

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	883
「その他」の区分の利益	72
全社費用(注)	△1,840
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	△884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。